



臨床研究部  
からのお便り

# 被災時の食物アレルギー対策は？

第19回

毎年、日本のどこかで災害がありご心配な方も多いと思います。被災された方には心よりお見舞い申し上げます。



食物アレルギーのお子さん、また保護者の方々は普段どのような備えをされているでしょうか。これを機にもう一度見直していただくとありがたいです。

災害が起きた直後は、正直なところ、ご自分の身を守る行動をとっていただくしかないので、日頃から防災グッズの中にアレルギー対応食品を入れておくのが大切です。お子さんがその食べ物を気に入るかどうか、本当にアレルギーを起こさないかどうか、事前に一度食べておくことさらに安心ですね。その後、避難所などで食事が支給できるような状況になったら、まずはその避難所に食物アレルギー対応の食品が置いてあるのかどうかスタッフの方に確認しましょう。非常事態では残念ながらせっかくの食物アレルギー対応食品が一般の防災食と同じように配布されてしまうことがあります。ご自分から声を出すのは勇気がいること

ですが、決してわがままを言っているわけではありませんので頑張って伝えてください。

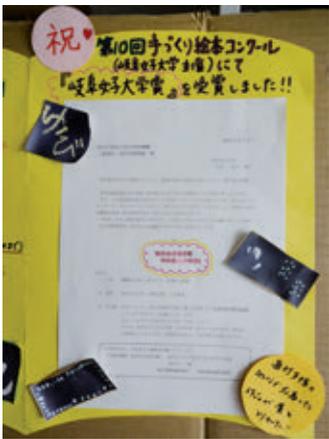
避難生活が長引きそうだと、炊き出しなどではアレルギーの混入が心配になるときもあると思います。この頃になると、今の世の中、インターネットのウェブサイトやSNSが活躍します。日本小児アレルギー学会、三重県アレルギー相談センターなどではfacebookのアカウントがあります。また、厚労省、日本アレルギー学会が監修している「アレルギーポータル」というウェブサイトがあります。被災したときの災害時の取り組み指針、パンフレットなどはこの「アレルギーポータル」から探していただくと、正しい情報を確実に入手できます。同様に、facebookなどでも何月何日にどこで食物アレルギー対応の食品が配布されますよ、といった情報も入手しやすくなります。インターネットやSNSは便利ですが、時にどれが正しい情報なのかわからなくなりますよね。ぜひ、このような学会やポータルサイトのコンテンツをご活用ください。

災害が起きないのが一番ですが、上記のウェブサイトやSNS、一度是非のぞいてみてくださいね。

(アレルギー疾患治療開発研究室長 長尾 みづほ)

## 通所支援事業のひとコマ

先月のニュースレターでお伝えしましたように、岐阜女子大学が開催している「第10回手づくり絵本コンクール」へ三重病院通所支援事業の利用者さんと職員のみんで「ゆび」という作品を応募しました。



全国から397作品が応募され、その結果、みんなで作った作品が「岐阜女子大学賞」をいただきました!!

11月10日11時～12時に表彰式が執り行われます。通所支援事業のみんなを代表して、表彰式に出席します(担当者:丸澤)。今からとってもドキドキワクワク楽しみです。次号でその時の様子をお伝えしようと思います。お楽しみに♪

もう一方、津市が開催している「第10回津市手づくり絵本コンクール」は、「あし」形を取り、応募しましたが、まだ結果はわかりません。結果がでましたら、こちらにも皆さんにもお伝えしたいと思います。結果はいかに?!

(主任児童指導員 丸澤 由美子)

## やまばとギャラリー information



今月のやまばとギャラリーは、「葉っぱのモビール」です。包装紙やお花紙を丸めたりちぎったりして、葉っぱの紅葉を表現し、ゆたかな「やまばとの森」をつくりました。モビールにするため、2つの葉っぱ(しかもそれぞれ裏表あります!)

を飾り付けたため、作業量は多かったです。患者さんは最後まで熱心に取り組み、1つ1つの作業を楽しんで作っていました。

ギャラリーに飾られた作品を皆さんに見てもらうことを患者さんたちはとても楽しみにしています。感想をお待ちしています!

(児童指導員 白松 美優)

